わかば便り

vol.02

平成28年6月号

鳥取県立中央病院　看護局　西尾・片垣
教育委員会　川口

新人看護師は、入職して2ヶ月が過ぎました。職場に慣れ、少しづつ看護技術に自信がもてる時期になりました。5月の褥創予防対策、輸液ポンプ・シリンジポンプ、フィジカルアセスメント研修、経管栄養・導尿・浣腸の実技研修では、実地指導者の方の熱心なご指導ありがとうございました。

5月27日・28日の宿泊研修では、同期のみんなとたくさん語り合って元気を充電しました。6月から夜間勤務もはじまり緊張と不安で一杯です。気を引き締め今後も頑張ろうとお互いに励まし合いました。今後もご指導よろしくお願いいたします。

研修風景

【フィジカルアセスメント研修】

問診・打診・視診・触診・聴診で
実際の体に触れながら観察しました。

【輸液ポンプ・シリンジポンプ】

初めてシリンジポンプを使用しました。器械だけにとらわれず、患者さんの点滴刺入部までしっかりと観察して安全に実施していきたいです。

【経管栄養】

経管栄養チューブを正確に挿入できました。胃液の吸引・気泡音を聞きました。

【看護サービスを考えよう】

患者・家族の立場で「どんな看護サービスを受けたいか」意見を出し合いました。

【施設外研修】

テニスボール送りゲーム、速さを競い、盛り上がりました。

【新人看護師が目指す看護師像】

看護を振り返り、その後「1年後のなりたい私」自分の目標を立て、発表しました。